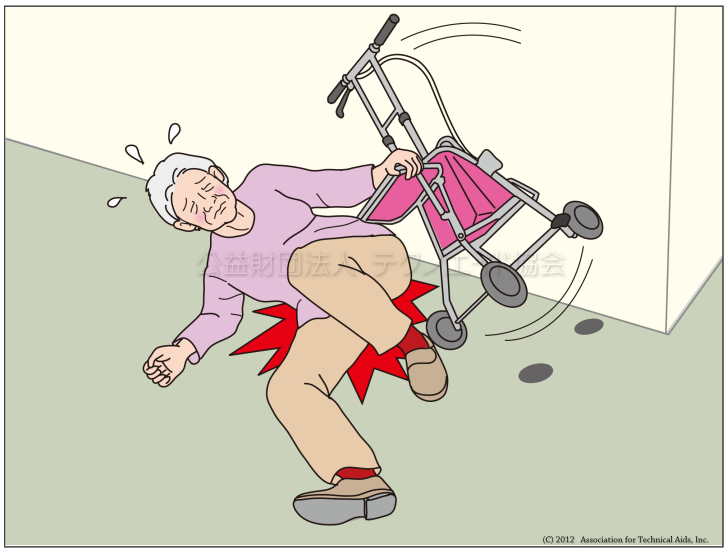
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：279

座面の端に座ってしまい、バランスを崩して転倒しそうになる

場面の説明

休憩をとるためいすに座ろうとしたが、いすの端に腰掛けたため、本体ごと転倒してしまった



利用シーン	立ち座り
主な利用場所	リビング・居間 廊下
介護保険の種目	ー
分類コード (CCTA95)	120690 (シルバーカー)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

小型のシルバーカーでいす自体が小さかったことが要因の一つと考えられます。シルバーカーには様々な大きさがありますが、歩行や座るときの安定感、ひじ掛けの有無、ブレーキのかけ易さなど、安全性を第一に選定することが大切です。見た目や機能にとらわれて、利用者の能力にそぐわない製品を選定すると、この事例のようなヒヤリ･ハットが起こり易くなります。提供者には、機能面のみを強調した説明にならず、安全につながる製品の特長、危険につながる短所などを分かりやすく説明することが求められます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：いすの端に腰掛けてしまった
モノ：シルバーカーが利用者に合っていない

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.